

11月24日から新病院での外来診療がスタートします 北上済生会病院が移転開院



北上済生会病院は11月24日から九年橋の新病院で外来診療をはじめます。昭和11年の創立以来、地域の中核病院としての役割を担ってきましたが、施設の老朽化などにより、新病院の整備が必要となっていました。中核病院として安全・安心な医療を持続的に提供していきます。

これに伴い、市では新病院周辺のバス路線や信号などの交通整備を行い、来院者の利便性の向上を図り、円滑な医療提供をバックアップします。

■問い合わせ：健康増進課 ☎72-8315

【新病院の特長】

済生会の一員として「施業救療の精神のもと、保健・医療・福祉サービスを提供し、地域貢献を目指しています。新病院では、救急医療、小児周産期医療、回復期リハビリテーションなど従来の医療を継続します。リハビリ病床や人工透析を増床し、更なる医療体制の充実を図ります。隣接する職場保育所には令和3年4月から市民向けの

病後児保育室を設置する予定です。また、無料低額診療事業など、これまで取り組んできた社会福祉事業を継続します。

【新病院へのアクセス】

新病院には自家用車などのほか、バスで行くことができます。移転に伴い、新病院周辺に停留所を増設しました。コミュニティバス「おに丸号」全線と若手県交通バス3路線が乗り入れるため、およそ1時間に1本バスが発着します。詳しくは両バスの時刻表をご確認ください。



おに丸号時刻表

※乗入バス路線の経路が変わることがありますので、ご注意ください。
※若手県交通の乗入路線は、横川目線（横川目発）藤根・江釣子経由、翔南高校線相去・鬼柳経由、北上金ヶ崎線相去経由の3路線です。いずれも北上済生会病院発着に変更します。

【日頃の受診はまずかかりつけ医へ】

県立中部病院や北上済生会病院などの中核病院は、重症者などへ比較的高度な医療を提供する病院です。多くの軽症の患者がこれらの病院を利用した場合、重症者など十分に医療が提供できなくなるおそれがあります。普段、具合が悪くなった際には、まず近隣の診療所を受診しましょう。

北上済生会病院では、かかりつけ医が不在の地区や紹介状がない人に相談窓口（☎64-7722）を用意しています。

■病院周辺の主なバス停と運行経路



す。電話でお問い合わせください。

【入院患者搬送にご協力を】

入院患者を新病院へ搬送します。搬送ルート周辺の道路が渋滞する場合があります。近隣住民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

■とき：11月22日(日)8時～15時

■走行ルート：現済生会病院(花園町)～北日本銀行川岸支店前～ホテルシティプラザ前～ファミリーマート北上九年橋店前～北上警察署前～新病院



■基本情報

〒024-8506 岩手県北上市九年橋三丁目15-33

☎64-7722 FAX64-2666



病床 224床（一般病棟 114床、小児・産婦人科病棟 50床、回復期リハビリテーション病棟 60床）

患者用駐車場 209台

診療科 21科（内科、小児科、呼吸器内科、消化器内科、心臓血管外科、循環器内科、皮膚科、血管外科、外科、耳鼻いんこう科、リウマチ科、整形外科、脳神経外科、脳神経内科、眼科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科）

医療機能 病棟、外来、救急、人工透析、保健予防センター、在宅医療部門訪問看護ステーション、リハビリテーション、在宅医療介護連携支援センター、地域周産期母子医療センター

珈琲 ブレイク



北上市長

高橋敏考

No.103

次期総合計画決定

先の市議会9月定例会議において次期10年間の総合計画基本計画が議決され、いよいよ令和3年度からスタートすることとなる。前段となる基本構想は昨年度すでに議決をいただき、まちの将来像が「“うきうき”“わくわく”するまち北上」となっているが、本当に市民の皆さんが“うきうき”“わくわく”を感じるためには、この基本計画がしっかり実行されることが大事であり、職員共々、改めて身の引き締まる思いをしている。

次期総合計画の大きな特徴の一つは、多くの高校生に未来創造会議にご参加いただき活躍してもらったことである。そして、もう一つは、これまでの計画のように何でも盛り込んで総花的にするのではなく、重点戦略が見える計画にすることだった。それが10項目から成る「持続可能なまちづくり推進プロジェクト」である。今後、本年度中に5年間のアクションプランと3年間の事業計画で構成される実施計画を作成し、実行に移すことになるが、もちろんこの10項目のプロジェクトに予算が優先配分されることになる。皆さんにはぜひご一読いただき、共感する分野では協働にチャレンジいただければ、更に目標に近づけるものと期待している。

当市は近年、キオクシア岩手をはじめとする多くの企業に立地していただき、都市の賑わいも取り戻しつつある。また、農林業が営まれる中山間部では民俗芸能が伝承されるなど、都市的なものと田園的なものが同時に手に入る魅力的な都市でもある。市民による文化芸術活動も盛んで、スポーツではインターハイや国体のメイン会場となった実績もある。東北の他の都市と比較しても市民が高いポテンシャルを持っている数少ない都市だと自負している。コロナ禍を早く乗り越え、新しい総合計画を携えて、共に新しいまちづくりに臨みたいものである。

女性に対する性暴力・DVなどをなくしましょう

11月は女性に対する暴力をなくす運動月間

女性に対する暴力をなくす運動(11月12～25日)に合わせ、11月を女性に対する暴力をなくす運動月間として取り組めます。女性への暴力根絶のシンボルである「パープルボン」を生涯学習センターで配布するほか、本庁舎・中央図書館・生涯学習センターにパープルボンツリーを設置します。パープルボンの着用は、女性に対する暴力をなくしたいという意思表示となり、誰でも始められる運動です。ぜひ着用にご協力ください。

■問い合わせ…地域づくり課 ☎72-8300

【相談窓口(DV相談プラス)】

内閣府は、DVについて相談する窓口を開設しています。電話・メール・チャットで相談することができます。専門の相談員が対応します。一人で悩まず、ご相談ください。

■相談方法…電話 ☎0120-279-888

9・24時間対応)、メール、チャット相談(受付時間12時～22時)



メール・チャット先QRコード

北上市の目指す文化政策を考えましょう

文化政策ワーキングを開催します

文化芸術を生かしたまちづくりを推進する条例制定・計画策定に向け、意見を出し合いながら市の目指す方向を明確にするため、文化政策ワーキングを開催します。

■テーマ…北上市の文化芸術が目指すもの

■とき…①11月1日(日)13時30分～16時30分 ②11月15日(日)9時30分～11時40分

■ところ…①生涯学習センター第1学習室 ②さくらホール小ホール

■定員…30人

■対象…原則として10月21日(水)の文化政策セミナーを受講済みで、①②いずれも参加できる人

■申し込み…電話 ☎080-118331-1897 またはメール (info@kobo.net)

で特定非営利活動法人芸術工房(事務局 昆野)へ

